



新学長よりご挨拶

湘北短期大学 学長 高野瀬 一晃



本年4月1日付で、学校法人ソニー学園・湘北短期大学の学長職を拝命致しました。そして、着任間もなく、高大連携の協定書を携えて、神奈川県下、また東京西部の高等学校計29校を訪問致しました。どの学校の校長先生とも親しく懇談させて頂き、協定書にお互いの署名をして、固く握手を交わした次第です。前職のソニー教育財団の理事長として、3.5年間に全国の小中学校と幼稚園・保育園・認定こども園を訪問し、授業実践を拝見してきましたが、高等学校を訪問するのは、今から44年前に理科と物理の教育実習で行った東京都新宿区の早稲田高等学校以来でした。着任早々で「高大連携」という言葉そのものも耳慣れないと同時に「29校全て訪問」と聞いて「ええ!そんなに一気に廻れるの?」と

びっくりした次第ですが、訪問させて頂くと、各校それぞれに特徴があり、また個性溢れる校長先生との意見交換も大変に楽しく、あっという間の29校訪問となりました。ご対応頂いた校長先生、教職員の方々、有難うございました。

さて「高大連携」の本当の意義は何処にあるのでしょうか?それは、協定書を取り交わす事や一方向の研究会での講義・プレゼンテーションといった一過性のイベントでは無く、高校と大学が本音で課題を共有し、意見を交換して継続的な改善活動に取り組む、つまり実質的なアクションを伴った活動に結びついて初めて価値を生むものと認識しています。皆さん、共に教育の質の向上を志向して「真の高大連携」を実現しましょう。宜しくお願い致します。

2019年度 出張授業

「音 ～センサー+出力系システム作成～」 川崎総合科学高校(2年生 4名)

(担当:総合ビジネス・情報学科 教授 内海 太祐)

3年目となる夏休みワークショップ、今回は8月27日に開催されました。2年生4名が「Arduino」という教育用に開発されたワンボードマイコンを使って簡単な電子工作とプログラミングを体験しました。川崎総合科学高校の担当の先生より、授業とは違うワークショップの位置付けやメリットについてお話をいただきました。

「実践的なワークショップに触れて」 川崎総合科学高校 高木 誠先生

川崎総合科学高校では一日体験授業や出張授業など様々な連携をさせていただいています。また、夏休み中には総合ビジネス・情報学科の内海先生にArduinoを用いた各種センサの取り扱いについてのワークショップを行っていただき、今年で3年目となります。本校の生徒はプログラミングを中心としてコンピュータのソフトウェアやハードウェアについて学習していますが、このワークショップでは高校で学んだことが大学や社会でどのように活かされるのかを実践を通して学ぶことができます。内海先生の授業は大変わかりやすく、参加した生徒たちも初めて使用するセンサに戸惑いながらも試行錯誤をしながらシステムを作り上げていき、とても和気あいあいとした中での授業となりました。個人的には本校を卒業した生徒がサポート役として活躍している姿を見るのが楽しみとなっていますので、今後ともよろしくお願いたします。



## 「子どものことば」 茅ヶ崎高校(1~3年生 12名)

保育学科 教授 高木 友子

赤ちゃんの行動とその意味について解説しながら、言語獲得には聴力・コミュニケーション・理解力・発音の4つの力が必要なこと、第一言語はコミュニケーションでしか学べないこと、保育園児の言語獲得は長時間生活を共にする保育士にかかっていること、などをお話しました。

アンケートのコメントより:「実際に大学で授業している内容

を受ける事が出来て『よかったな』と思えるような授業でした。」「もっと色々なことを学びたいと思うことができました。」「子どもにかかわる仕事なども考えてみたいと感じました。」(7月11日実施)



## 「情報分野を学ぶ生徒へ」 平塚商業高校(1年生 165名) 総合ビジネス・情報学科 講師 大塚 敬義

「情報分野を学ぶ生徒の皆さんへ—情報を活用する企業の活動例:今後必要な勉強—」のテーマで、身の回りにある持ち物が何でもネットにつながる環境を意味する「IoT」(アイオーティー:インターネット・オブ・シングス)について授業を行いました。例えば、JRが発行している定期券Suicaは、駅間の移動記録のほかに売店で買い物をした履歴を記録し、7千万枚分の情報が集まるとビッグデータ

になることを紹介しました。

アンケートのコメントより:「会計系に興味があったけど、情報もおもしろいと思った。」「情報処理のコースを志望しようと考えていたので、とてもタメになりました。」「商業の授業も大切ですが、日々の5教科も大切だということを教わりました。」(7月11日実施)



## 「マーケティングを学ぶ」 平塚商業高校(1年生 171名) 総合ビジネス・情報学科 准教授 加藤 美樹雄

「マーケティングを学ぶ」をテーマに、商業高校の1年生を対象に講義を行いました。高校2年次から、3つのコース(マーケティング、会計、情報)に分かれて授業を行うため、コース選択の一つのきっかけになるように基礎的な内容の講義を行いました。その際、江戸時代の近江商人の話や、現代のアイドルのプロモーションなどの例をあげて、少しでもマーケティングに興味を持ってもらえるように講義を進め

ていきました。

アンケートのコメントより:「ずっとマーケティングが何かよく分からなかったけど、今日の講演会で知ることが出来た。」「みんなが知っているもので例をあげていたのですごく分かりやすかったです」

(7月18日実施)



## 「造形表現の基礎」 高浜高校(1年生 53名)

保育学科 講師 小野 修平

「造形表現の基礎」をテーマに、フロッタージュ技法を使用した季節の壁面づくりを行いました。湘北短期大学の落ち葉を素材に、コンテパステルで形を擦り取ります。そこに各自で顔を描きミノムシに見立てることで、模造紙に描かれた大木に張り付けて鑑賞を行いました。講義では、幼児の造形活動と遊びの関わりや、表現に至るまでのプロセスの大切さをお話しました。

アンケートのコメントより:「短期大学は何を学んでいるのかが分かった。幼児と接するにはよくよく考えてから幼児に教えたりするんだと思いました。」「完成したもの(結果)よりそれまでの過程で見えあげることが大切と聞いていたのが、印象に残っています。」「子供の目線にたって物を考えてあげたり、どうしたら子供が楽しんだり、学んだりする環境を作ることが大切だと思いました。」(9月2日実施)



## 今後の予定

小田原東 高校	12月13日(金)	2年生	PCで楽しむ動画の仕組み	総合ビジネス・情報学科 准教授 高木 亜有子
	3月23日(月)	1年生	現代社会コミュニケーション	総合ビジネス・情報学科 教授 飯塚 順一
二宮高校	2月3日(月)	2年生	食事とコミュニケーション	保育学科 教授 高木 友子
有馬高校	3月後半	1年生	コミュニケーション研修会	総合ビジネス・情報学科 教授 飯塚 順一

## 第13回高大連携教育研究会「キャリア教育と教養」開催報告

日時：2019年9月3日 14:30~16:30

場所：湘北短期大学 1号館 120教室

「社会でほんとうに役立つ人材を育てる」を教育理念とする湘北短期大学の2018年度の就職率は98.9%、実就職率(就職者/進学者を除く卒業生)でも97.0%に達します。就職率だけでなく、3年内離職率も9.3%(厚生労働省発表の短大卒3年内平均離職率は41.5%)と極めて低いのも本学の特徴です。キャリア選択のミスマッチを防ぎ、就職後も生き活きと働き続けることができる教育を実践しています。今回の研究会では、キャリア教育の一環として実践しているインターンシップ(文部科学省の「大学等におけるインターンシップ表彰」2018年度優秀賞受賞)と保育学科の実践的な教育を紹介いたしました。キャリア教育を高校-大学の接続性で考える場となりました。なお、当日の資料はWebに掲載しております。

参加高校：愛川、厚木北、厚木清南、厚木西、綾瀬、有馬、海老名、寒川、平塚湘風

本学からの参加者数：17名



### 話題提供1：希望者は全員参加できる湘北インターンシップ

インターンシップセンター長 総合ビジネス・情報学科教授 飯塚 順一



本学のインターンシップは、誰一人取り残すことなく、本当にインターンシップを必要としている学生のために希望者は全員参加できるプログラムです。正確には「参加をためらっている学生こそ参加すべき」という方針で、指導に当たるインターンシップ担当教職員は、どのような学生が目の前に現れても、事前指導期間に確実に成長させて送り出す使命を持って取り組んでいます。実習先企業の方々からも「成績優秀な学生さんの受け入れも歓迎するが、個性豊かな少々粗削りなところのある学生さんを指導することは、企業側にとっても人材育成の観点から学ぶことの多い大変貴重な機会になっている」というコメントもいただいています。こうした湘北インターンシップの方向性が評価され、文部科学省「大学等におけるインターンシップ表彰」にて優秀賞受賞につながったことは、本学にとって大きな自信になりました。2年生が1年生を正規授業で指導するPBL科目も新規にスタートし、これからも多角的に発展する湘北インターンシップにご注目ください。

### 話題提供2：保育学科のキャリア教育

保育学科教授 高木 友子

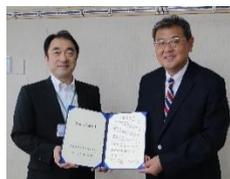
毎年保育学科の卒業生はその95%以上が保育の現場へ就職します。卒業生についてのアンケートでは9割以上の法人からその頑張りが高く評価されていました。採用では人柄・意欲・協調性・コミュニケーション力が重視され、期待される力も専門力よりも一般常識や語彙力を挙げる法人が多くありました。保育者である前に社会人であることが求められています。それに備えて本学科では専門教育の内外で「書く」機会を増やし、大切にしていますし、マナー講座や一般教養講座(公務員講座)を設けています。教員とキャリアサポート課が協力して学生のニーズを知り法人とマッチさせることで全国より離職率を下げています。



講演の後は、本学の教職員を交え、自己紹介も兼ねた質疑応答、意見交換を行いました。インターンシップの授業での苦労話や、語彙力だけでなく日本語の理解力とその教育について、大学と高校での「情報」教育の内容について、また、今年度入学の高校1年生から対象となった「探求学習」の現場での現状と課題について、など、様々なトピックが話題に挙がりました。まさに高大連携して教育活動を進めないと解決できない課題が山積しています。次回以降議論を深めたい重要なテーマが示唆される会となりました。

## 高大連携「教育交流協定」締結のお知らせ

新学長就任にあたり、各校との「教育交流協定書」を更新させていただきました。連携校におかれましては、ご多忙の中、校長先生をはじめご担当の先生に調整いただきまして誠にありがとうございました。これまで以上に活発な教育交流事業を展開してまいりたいと存じます。引き続き、協定校、関係者の皆様のご理解とご支援を賜りたく、お願い申し上げます。



愛川高校  
村上聡 校長



相原高校  
高瀬博昭 校長



足柄高校  
吉川亮 校長



厚木北高校  
改田晃 校長



厚木商業高校  
伏見勉 校長



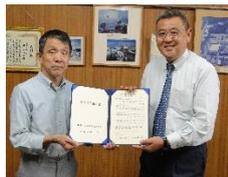
厚木清南高校  
山口正樹 校長



厚木西高校  
岸川浩幸 校長



厚木東高校  
村越みどり 校長



綾瀬高校  
笹谷幸司 校長



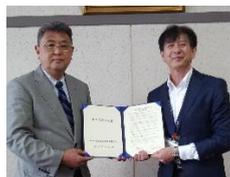
有馬高校  
玉井正史 校長



伊志田高校  
小島由美 校長



伊勢原高校  
広瀬邦彦 校長



海老名高校  
上林正明 校長



小田原東高校  
立花ますみ 校長



座間高校  
小山修 校長



寒川高校  
田村丈晴 校長



瀬谷高校  
石渡江里子 校長



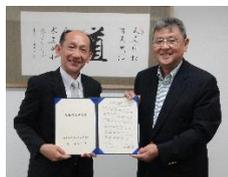
高浜高校  
田岡芳和 校長



茅ヶ崎高校  
清宮太郎 校長



中央農業高校  
添野龍雄 校長



二宮高校  
中島良光 校長



秦野総合高校  
塩浦健吾 校長



平塚商業高校  
金森慶一 校長



平塚湘風高校  
牛久保浩一 校長



藤沢清流高校  
萩谷英明 校長



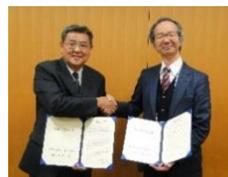
舞岡高校  
猪飼誉之 校長



山北高校  
藤田正樹 校長



川崎総合科学高校  
荒井利之 校長



町田工業高校  
山之口和宏 校長

Twitter フォローをお願いいたします! 湘北短期大学リベラルアーツセンター @shohoku\_lac

リベラルアーツセンターの活動、高大連携のイベント(出張授業、研究会など)をできるだけリアルタイムでお知らせしていきます。

湘北短期大学リベラルアーツセンター (担当:北野・谷口・熊谷)

〒243-8501 神奈川県厚木市温水 428  
TEL:046-247-3131 / FAX:046-247-3667  
E-mail: LAC@shohoku.ac.jp  
URL: <http://scopp.shohoku.ac.jp/>



湘北  
ナビットくん

高大連携通信 vol.18

発行日:2019年10月10日(木)

発行元:湘北短期大学

リベラルアーツセンター